



KURIDA INTERNATIONAL

国家百年の計

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

現状の革命的現実の変化への対応は新しい国家基盤への転換と未来という現実への参加を必要とされるものである。失われた30年における社会転換は、国家百年の計における新しい国家への転換を可能とできるものである。

これらは新しい現実を求めるとき、刹那的対応は完全な誤りなのである。これは国家と社会基盤を再度見直し、長期的視点における国家の基盤と構築を求められるものである。

これらは未来という現実の基盤の作成なのである。これらは官僚組織における詳細な理解の共有と計画の作成において、新しい国家構築を求められると考える。

これらは経済や軍、学術性における現状の限界は、既存システムと基盤がもはや通用しないからなのである。これらは絶対的な日完成を現実に与えるものであるが、これらは国家基盤や社会システムの見直しにおいて、その根本的な要因の解決と未来への正しい自己基盤の形成において解決できるのである。

これらは既存システムの崩壊と新しい現実への対応、双子の赤字という根本的な要因などは、根本的な自己原因を有することにおいて、それらへの小手先の対応では解決できないはずである。

そのため、新しい国家への転換を行政計画において、実現する必要性が存在し、それは可能であると考ええる。

これらは、国家が総力を挙げ、新しい自己への転換を実現すべきであり、それらは必ずしも過去の放棄でなく、未来という現実へ再度参加することへの必要性であると考ええる。

これらは全ての社会と国家の現実へ詳細の理解と新しい自己基盤の形成において未来への参加と問題の解決を実現することを提案したいと考える。

これらは刹那的対応で現状の問題は解決できないためであり、未来への自己基盤は、その正しい自己環境を整備し、問題の先送りではなく、解決という選択を求められるはずである。